

## 2025 年度 春季短期派遣プログラム派遣学生募集要項

2025 年 10 月 1 日

東京農工大学

### 1. プログラムの目的

本学は、世界に向けて日本を牽引する研究基軸大学としての地位を確立するとともに、国際社会で指導的な役割を担う高度なプロフェッショナルの育成を目指します。世界と競える研究力を一層強化するためには、国際社会におけるコミュニケーション力を持った人材を育成する教育の充実が必要です。

本プログラムでは、学部レベルから語学力(英語力)とそれを駆使したコミュニケーション力の強化、専門科目への導入及び国際社会との実践的関りを目的とし、5つの研修を実施します。本プログラムで得た経験を、今後の学業・進学・就職に活かし、より長期の留学等に繋げてほしいと考えます。

### 2. 注意事項

本要項の記載情報は 2025 年 10 月上旬時点の内容ですが、今後の様々な状況によっては、派遣期間、派遣内容、選考スケジュール、派遣費用及び派遣実施の可否などの変更が生じる可能性があります。これらの点を十分に理解いただいた上で、海外派遣に興味があり可能性に挑戦してみたいという方に応募してほしいと思います。本学としても必要な情報は随時皆さんと共有しつつ進めていく予定ですので、派遣を希望される皆さん、また保護者の皆様におかれましては、状況に応じて適切な情報に基づき判断していただくとともに、大学としての危機対応方針および対策にご理解・ご協力いただけますよう、よろしくお願ひいたします。なお、本派遣プログラムの渡航については、学生の皆さんの健康及び安全を第一に考え、本学の方針に従って実施することになります。

### 3. プログラムの内容

#### (1) 派遣先、派遣期間、費用概算、派遣人数

No	研修名	派遣先	期間	通常 参加費用 (概算)	① JASSO 奨学金*	② 学内 奨学金 (全員 対象)	①・② 両方受給 した場合 の参加費 用(概算)	人数
1	NZ 語学 & ファームステイ研修	ニュージーランド・ クライストチャーチ	2026/2/14～ 3/4	71 万円	9 万円	9 万円	<b>53 万円</b>	10-20
2	タイ熱帯農業 & 環境研修	タイ・バンコク & チェンマイ	2026/2/15 (14 夜)～3/19	51 万円	18 万円	9 万円	<b>24 万円</b>	10-18
3	インドネシア理工系文 化体験 & 企業訪問研修	インドネシア ジャカルタ	2026/2/8～3/1	40 万円	9 万円	9 万円	<b>22 万円</b>	10-18
4	マレーシア語学 & 理 工系専門交流研修	マレーシア クアラルンプール	2026/2.9～26	42 万円	9 万円	9 万円	<b>24万円</b>	11-16
5	UC デイビス 理系語学研修	アメリカ・カリフォルニア UC デイビス校	2026/2/11- 3/16	100 万円	22 万円	11 万円	<b>67 万円</b>	8-15

・事前学習(渡航ガイダンス等)を 2025 年 12 月上旬から順次実施

・期間、内容、費用等は現在調整中のため変更する場合もあり

・各プログラムとも最少催行人数に満たない場合は実施を見送る可能性あり

\*奨学金は支給基準あり→「(5) JASSO 海外留学支援制度(協定派遣)奨学金」を参照

②学内奨学金は留学促進を目的とし、  
2025 年度新たに設置されたものであり次  
年度以降は未定。なお、一年度に 1 人 1 回  
しか適用されない可能性がある。詳細は決  
まり次第該当者に連絡予定。

(2) 派遣内容

No	研修名	分類	研修概要	単位	本学教員帯同	空港・大学間の送迎
1	NZ 語学 & フームステイ 研修	語学、 地域研究、 フィールド実習	リンカーン大学における語学コースにて英語力を鍛えるとともに、農場におけるフィールド活動を通してコミュニケーションの実地体験及び異文化体験を行う。	1	往路 + 2日間あり	あり
2	タイ熱帯農業 & 環境研修	語学、 地域研究、 フィールド実習	チェンマイ大学にて語学研修、カセサート大学にて専門科目の聴講と現地大学生との意見交換・交流、実際のフィールド実習などを通して、熱帯農業と環境問題の実態を学ぶ。	1	往路 + 2日間 + 後半あり	あり
3	インドネシア 理工系文化体験 & 企業訪問研修	語学、交流、 文化体験、 企業訪問	インドネシア大学において、現地の学生たちとともにケーススタディや文化交流を行うとともに、現地文化体験クラスや企業訪問などを通して、理工系の専門を多面的な角度から理解し、適切かつ建設的なコミュニケーション能力を身に着ける。	1	無し (ただし状況を見て判断予定)	あり
4	マレーシア語学 & 理工系専門交流 研修	専門講義、 語学、文化交流	マレーシア工科大学マレーシア日本国際工科学院において、専門科目への参加、語学・文化研修、バディ学生との交流を通して、総合的なコミュニケーション力を培う。	1	往路+2日程度帯同	あり
5	UC デイビス 理系語学研修	語学、専門	カリフォルニア大学デイビス校が行う短期語学研修プログラムに参加し、英語によるディスカッションや特別講義の聴講を通して英語能力を向上させる。(「理系英語コース」への参加を原則とするが、「持続可能農業コース」についても可能性有*)。	1	無し (ただし状況を見て判断予定)	あり

\* UC デイビス校「持続可能農業コース」は、参加希望者が定数に満たない場合は不開講となる。

(3) 単位付与

以下の全てを満たした場合、「農学部／工学部特別講義(科目名は調整中)」として「(2)派遣内容」記載の単位が付与されます。(国際農学プログラム修了を目指す学生のみ、農学部特別講義(春季短期派遣:～)ではなく海外特別演習 I ~ IVで認定される場合がある。)

1. 事前学習に参加すること(シラバス内容を確認すること)
2. 派遣先大学等での研修に参加し、修了すること
3. 報告書を提出すること
4. 研修報告会で発表すること

(単位認定を希望する者は、原則帰国後から1ヶ月以内に手続きを行うこと\*)

\* 手続き方法については、別途連絡の予定

※渡航前事前研修の時点で、シラバスに設定されている到達基準の達成が見込まれない場合は、実際の渡航を取りやめる場合もある。

※4 年次生(共同獣医学科の場合は 6 年次生)の場合は、本研修による単位認定が卒業判定時期に間に合わないため、単位認定の要件を満たしたとしても認定されない。

#### (4) 参加費用等

- プログラム参加費用に含まれる費目  
航空運賃、派遣先大学等での研修(講義・実習等)費、現地宿泊費を含む。ただし、為替レートや燃料サーチャージ等の変動により現在の費用より増減の可能性がある。
- 研修によってその参加費用に含まれる場合がある費目  
食費、空港～宿舎間移動費、宿舎～研修先間移動費は研修によっては、それぞれのすべてまたは一部が参加費用に含まれている場合がある。含まれていない場合は、各自別途に用意する必要がある。
- プログラム参加費用に含まれない費目  
パスポート申請費用、ビザ等取得費用(派遣先・国籍による)、海外旅行保険料、日本国内の交通費、現地での課外活動等に係る費用(交通費、入場料等)、その他の飲食費や小遣い等。
- 航空チケット・現地宿泊施設の調整・手配は原則大学が行う。
- 「海外渡航誓約書」の 10 条・11 条にも記載の通り、留学中の就学・生活上の事由のほか、渡航先における災害や治安悪化等による場合等も含め、留学中止などに伴うキャンセル料や旅行変更の費用(途中帰国の場合等)や隔離措置等が必要な場合に係る費用、海外派遣に係る費用は全て学生本人が負担することになる。

#### (5) JASSO 海外留学支援制度(協定派遣)奨学金

- 受給者の要件: 本プログラムの目的を理解し、今後、グローバル人材として活躍するための素養を身につける努力を惜しまない学生に対して、以下のような条件で JASSO(日本学生支援機構)から渡航地に応じた奨学金が支給される。また、本奨学金については本募集とは別途調整の上、支給の可否が決定される。手続き等詳細は研修参加が決定してから指示がある。
  - 1) 前年度の成績(要件外科目を除く)をもとに計算した JASSO 成績評価係数が原則として 3.00 満点で 2.30 以上であること
  - 2) 日本国籍を有すること又は日本への永住が許可されていること(特別永住者を含む)
  - 3) プログラム参加の意思を確認する面接選考等を受けること
  - 4) 奨学金人数枠に限りがあるため、要件を満たしても全員が奨学金を受給できるとは限らない。
  - 5) 派遣先大学等での研修に参加しなかった者、または参加しても修了できなかった者には本奨学金が支給されない。
  - 6) 本学に支給される JASSO 奨学金の枠には限度があり、それを超えての支給はできない。
- 同一年度内に既に本奨学金を受け取っている場合は、本奨学金を受給できない可能性がある。ただし、奨学金がなくとも本プログラムに参加することは可能。
- 成績評価係数: 以下の算出方法をもとに JASSO「成績評価ポイント」を換算し、小数点第 3 位を四捨五入して算出するものです。2 年次以上は 2024 年度前・後期の成績から算出する。1 年次および 2025 年度入学の 3 年次編入の者は、2025 年度前期の成績から算出する。

【JASSO 成績評価指数の算出方法の例】“S”と“A”を同じ評価ポイント 3 で計算する(※)。

	成績評価				
5 段階評価(パターン 5)	S	A	B	C	D
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$(S \text{ の総単位数} \times 3) + (B \text{ の総単位数} \times 2) + \\ (C \text{ の総単位数} \times 1) + (D \text{ の総単位数} \times 0)$$

#### 総登録単位数

- JASSO 給付型奨学生: JASSO 給付型奨学生と本奨学生を併給することはできません。受給している場合は、給付型奨学生の休止手続きが必要となります。その他の奨学生: 併給を認めていない奨学生を受給している場合は、本奨学生を受給することはできない。
- 「第二種奨学生」(在学採用)の家計基準を超えない者を優先とする。(以下を満たす場合は該当する可能性がある。)
  - ・現在、第一種、第二種奨学生を受給している者。
  - ・JASSO ホームページ「家計基準」に掲載の収入・所得の目安を超えない者。  
[https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo\\_2shu/kakei/zaigaku/index.html](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/kakei/zaigaku/index.html)  
上記 URL から「大学での奨学生」を選び、「2. 家計基準」を確認のこと。



- 家計支持者全員の収入・所得金額の合計が次の金額である学生は、別途渡航支援金 16 万円が支給される。支給には家計支持者の収入・所得を証明する書類の提出が必要となるため、該当する可能性がある場合は申請時に申し出ること。

給与所得者の場合	年間収入金額(税込)が 300 万円以下
給与所得者以外の所得を含む場合	年間所得金額(必要経費等控除後)200 万円以下

#### 4. 説明会開催日程 (いずれも事前予約不要)

①10/2(木) 12:05-12:55 [オンライン]

<Zoom Meeting ログイン先 URL>

※「農工大 Google アカウントで認証された参加者」のみに限定しているため、必ず【@st.go.tuat.ac.jp】でサインインのうえ、接続のこと。

<https://tuat-jp.zoom.us/j/84217633320?pwd=9QN8XD128Z8nv5fXINFItXlhlt14an.1>

ミーティング ID: 842 1763 3320 パスコード: 791555



②10/9(木) 12:05-12:55 府中 @1 講 22 教室 [対面開催]

③10/10(金) 12:05-12:55 小金井@13 号館 1341 室 [対面開催]

※①～③ともに同様の説明内容を予定。昼食を食べながらの参加も可能。

※2025 年度夏季派遣プログラム参加者による報告会を、以下の通り開催予定。

対象プログラムは、2025 年 8~9 月に実施済のブルネイ、ベトナム、オーストラリア、UC デイビス

10/14 (火) 12:05-12:55 府中 @1 講 12 教室 [対面開催]

10/17 (金) 12:05-12:55 小金井@13 号館 1341 室 [対面開催]

#### 5. 応募・選考

##### (1) 応募資格

①本学に在籍する学部 1~4 年次生(共同獣医学科は 1~6 年次生)

☆外国人学生: 応募可。ただし JASSO の支給は(5)受給者の要件を満たすものに限る。

②以下のいずれかと同程度以上の英語力を有することが望ましい。

語学レベル	TOEFL-iBT	TOEIC*	IELTS	英検	研修名
CEFR B2 以上	72～	680～	5.5～	準1級以上	UC デイビス理系語学
CEFR B1 以上	42～	625～	4.5～	2級以上	NZ 語学＆ファームステイ マレーシア語学＆専門交流
CEFR A2 以上	—	550～	—	準2級以上	タイ・熱帯農業＆環境 インドネシア文化体験＆企業訪問

\*TOEIC L&R/TOEIC S&W

- ③事前・事後研修に必ず参加すること。
- ④必要な手続きや連絡、報告などの対応について期限を守り適切に遂行できること。
- ⑤本プログラムで得た経験を、帰国後の学習・研究活動に還元し、今後の大学院進学や就職に活かそうとする意思があること。
- ⑥海外渡航誓約書((2)応募書類② 参照)の記載内容を理解し、記載事項を承諾・遵守すること。  
特に派遣中の自分の行動が本学学生の典型的な行動とみなされることを自覚し、責任ある言動を行うことができること。
- ※ 特別配慮が必要な者は、申請前に必ず担当教員まで相談のこと。  
(保健管理センターから学科への何らかの配慮願いを既に出している場合に限る。)  
なお、本人の了解を得たのち、保健管理センターや関係教職員と状況を共有予定。ただし、特別配慮の内容によっては、海外での実習においては対応できない場合もある。
- ※基礎疾患や健康状態に不安がある者についても、申請前に担当教員に相談することを推奨する。  
(派遣決定後手続きの際に参加困難が判明した場合、キャンセル費用等の負担が生じる可能性があるため。)

## (2) 応募書類

- ①申請書(別添様式 1)
- ②志望動機(別途様式 2)
- ③海外渡航誓約書  
[https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/NEWS/important/20210708\\_seiyakusyo.pdf](https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/NEWS/important/20210708_seiyakusyo.pdf)
- ④英語力を証明できるもの(コピー可。ない場合は不要。)
- ⑤成績証明書(本学のもの)
- ⑥パスポートコピー(写真が鮮明に見えるコピー。有効なパスポートがない場合は不要)



## (3) 応募・選考スケジュール

公募期間: 2025年10月1日(水)～11月4日(火)

応募書類提出期限: 2025年11月4日(火) 16:00 厳守

応募書提出先: 府中地区学生支援室入学試験係または小金井地区学生支援室教務係

※応募する学生は、府中地区は自身が所属している学科の国際交流委員または研究室指導教員に、  
小金井地区は自身が所属している学科の教育委員または研究室指導教員に、  
事前にプログラム申請書をメールで提出する必要がある。

第一次選考(書面審査)結果発表:

2025年11月7日(金) (予定)

第二次選考(面接審査):

2025年11月11日(火)～14日(金) 昼休み(予定)

最終選考結果通知:

2025年11月25日(火) 内定発表(予定)

#### (4) 選考基準

##### ①第一次選考:書面審査

\* 語学力、成績、申請書記載内容から総合的に評価。

##### ②第二次選考:面接審査

\* 以下の内容に関する日本語および英語による質疑応答により、本プログラムへの理解と意欲等について総合的に評価。

(1) 志望動機

(2) プログラムを通しての学習目標

(3) 将来の進路希望

(4) 国際交流活動への意欲や経験

(5) コミュニケーション力

(6) プログラムへの適性

## 6. 問い合わせ先

No.	研修名	担当教員	連絡先
1	NZ 語学＆ファームステイ研修	横森佳世 *	yokomorikayo@go.tuat.ac.jp
2	タイ熱帯農業＆環境研修	横森佳世 *	yokomorikayo@go.tuat.ac.jp
3	インドネシア理工系文化体験 &企業訪問研修	堀切友紀子 *	horikiri@go.tuat.ac.jp
4	マレーシア語学＆理工系 専門交流研修	堀切友紀子 *	horikiri@go.tuat.ac.jp
5	UC デイビス理系語学研修	安村友紀 *	yuki-yasumura@go.tuat.ac.jp

春季短期派遣プログラム全体に関する問い合わせ \*グローバル教育院

府中キャンパス:

- ◆横森佳世 准教授 yokomorikayo@go.tuat.ac.jp
- ◆府中地区学生支援室入学試験係 a-nyushi@cc.tuat.ac.jp 042-367-5659

小金井キャンパス:

- ◆堀切友紀子 准教授 horikiri@go.tuat.ac.jp
- ◆小金井地区学生支援室教務係 tkyomu1@cc.tuat.ac.jp 042-388-7010

## 2025 年度春季短期派遣プログラム 参加申請書-1

フリガナ	(セイ)		(メイ)	性別	
氏名	(姓)		(名)	男・女	
氏名 (ローマ字)	(※パスポートの表記又はパスポート申請予定の表記と同様)				
所属	学部	学科	年	学籍番号	
連絡先	携帯電話: E-mail :				
語学力(複数ある場合は CEFR の高い方)	TOEFL(iBT・PBT・ITP)・TOEIC・IELTS・英検 _____ 点・級 ※いずれかに○をしてください。 (20____年____月____日時点)				
留学経験 (農工大入学以降、ある場合)	①時期: 20____年____月～20____年____月 国名_____ JASSO 奨学金 有・無 ②時期: 20____年____月～20____年____月 国名_____ JASSO 奖学金 有・無 ③時期: 20____年____月～20____年____月 国名_____ JASSO 奖学金 有・無				
参加希望研修 (参加意思のある研修のみ)	第 1 希望: _____ (希望派遣先国名(右記)を記入)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュージーランド</li> <li>・タイ</li> <li>・インドネシア</li> <li>・マレーシア</li> <li>・UC ディビス</li> </ul>	
	第 2 希望: _____ (同上) ない場合は空欄				
	第 3 希望: _____ (同上) ない場合は空欄				
国籍	(外国籍の場合、永住許可: 有・無)				
JASSO 奖学金	<input type="checkbox"/> 申請する <input type="checkbox"/> 申請しない				
他の奨学金受給状況	現在受給している奨学金: 有・無 (有を選択した場合) 奨学金名称: 併給: 可・否 月額: 円				
研修参加における健康上の心配	<input type="checkbox"/> 心配なし <input type="checkbox"/> 懸念点はあるが主治医と相談済み <input type="checkbox"/> その他( )				
事前・事後研修への参加	派遣されることになった場合、事前研修・事後研修に参加することを誓約します。 日付: 年 月 日 氏名_____ (自署)				
保証人同意	上記申請者が、東京農工大学海外短期派遣プログラムに参加することに同意します。保証人氏名: (自署) (申請者から見た続柄: )(連絡先電話番号: )				

◆締切: 2025 年 11 月 4 日(火)16:00 厳守 ◆提出先: 府中地区学生支援室入学試験係または小金井地区学生支援室教務係

※ 応募する学生は、府中地区は自身が所属している学科の国際交流委員または研究室指導教員に、小金井地区は自身が所属している学科の教育委員または研究室指導教員に、事前にプログラム申請書をメールで提出してください。

## 2025年度 春季短期派遣プログラム 参加申請書-2

### 参加志望動機

学部\_\_\_\_\_ 学科\_\_\_\_年 学籍番号\_\_\_\_\_ 名前\_\_\_\_\_

応募に至った動機、プログラムを通しての学習目標、将来の進路希望、国際交流活動への経験や意欲等を簡潔に1枚以内にまとめて記載してください。(手書きではなくタイプしたもの提出が望ましい)

◆締切:2025年11月4日(火)16:00 厳守 ◆提出先:府中地区学生支援室入学試験係または小金井地区学生支援室教務係  
※ 応募する学生は、府中地区は自身が所属している学科の国際交流委員または研究室指導教員に、小金井地区は自身が所属している学科の教育委員または研究室指導教員に、事前にプログラム申請書をメールで提出してください。

東京農工大 シラバス								
<b>□ 科目名</b>								
短期海外派遣プログラム(事前研修・事後研修)								
<b>□ 区分</b>	教養科目	<b>□ 選択必修</b>		<b>□ 単位数</b>	1			
<b>□ 対象学科等</b>		<b>□ 対象年次</b>	1~ 4 *大学院生	<b>□ 開講時期</b>	3学期			
<b>□ 授業形態</b>	対面、状況に応じてオンラインもしくはハイブリッド	<b>□ 時間割番号</b>						
<b>□ 責任教員[ローマ字表記]</b>								
横森 佳世 YOKOMORI Kayo, 堀切 友紀子 HORIKIRI Yukiko, 安村 由紀								
<b>□ 所属</b>	グローバル教育院	<b>□ 研究室</b>		<b>□ メールアドレス</b>				

### 概要

本学の海外派遣プログラムとして海外協定大学に派遣するために必要な知識、情報、心構えの取得・確認を目的とし、十分な事前準備を行うための研修として位置付ける。具体的には、学内・学内における必要な手続きや、英語学習、海外渡航にかかる手続きや知識、現地情報、異文化コミュニケーションなどについて、必要な情報を共有したり、状況を確認したりする。

### 到達基準

1. 学内外における海外渡航に必要な手続きを確認し、期限内に適切に対応することができる。
2. 海外研修参加に必要な最低限の英語力を身に着けるほか、自身の英語学習の状況を客観的に把握し、具体的な今後の学習目標が立てられる。
3. 現地の政治・経済・歴史・産業・文化等の状況について、主体的に概要を理解する。
4. 背景の異なる人たちと適切にコミュニケーションが取れるための適切な理解および知識を身に着ける。
5. 日常とは異なる状況の中で適切な危機管理ができるよう必要な知識を身につけ、事前準備ができる。
6. 関係者や渡航先の担当者と適切に情報共有をし、必要なサポートを受けながら充実した研修を自ら創ることができる。
7. 国内外で起こっているニュースや現地情報について自ら確認・理解し自身の判断や行動に繋げることができる。

### 履修条件・関連項目

海外短期派遣プログラムに応募し、審査を通過すること。

\* 渡航前に上記の到達基準の達成が見込まれない場合には、実際の渡航を取りやめる場合もある。

### テキスト・教科書

必要に応じて資料を使用

### 参考書

特になし

### 成績評価の方法

渡航前の事前準備、渡航中、帰国後のレポート、最終報告会の内容をもとに総合的に判断する。

### 教員から一言

事前研修の日程については、派遣が決まり次第、担当教員より連絡があります。

本学の短期海外派遣プログラムに参加する場合には、必ず事前研修にすべて参加する必要があります。

やむを得ず予定が合わない、出席が難しい場合は必ず事前に担当教員に連絡をして対応を相談してください。

### キーワード

海外派遣、語学研修、海外渡航、現地事情、異文化コミュニケーション、危機管理

### 開講言語

日本語

### 備考